

新型コロナワクチンについて

当院では、新型コロナウイルスのワクチン接種の予約を承っております。ご希望の方は、下記をお読みのうえ、お電話にてご予約ください。



- 平日9:00～17:00 電話にてご予約が可能です。
- 対象者となる方は接種券がお手元に届いた方です。
- ワクチンは「ファイザー社製」です。
- 接種日は予約の際に当院にて指定させていただきます。
- 下記を確認いたしますので、ご準備のうえお電話願います。

①お名前、生年月日、ご住所、電話番号

②前回の接種日と接種場所 ※②は接種券に記載されています。

【12歳以上の方について】

オミクロン株対応コロナワクチン(2価ワクチン)です。

【幼児(5～11才)の方について】

2価ワクチンではなく、従来型です。



【接種当日の持ち物等】

接種当日は、以下をお持ちください。

- 接種券 (クーポン券)
- 予診票 (必要事項を記載してお持ちください。)
- 健康保被保険者証 (または身分証明となるもの)
- お薬手帳 (お持ちの方のみ)

接種当日は、肩がすぐ出せる服装でお越しください。

お電話はこちらにお願いします TEL:0256-88-5521 (平日9:00～17:00)

医療法人 美郷会

西蒲中央病院

- 認知症対応型通所介護「デイサービスセンターみさと」
TEL:0256-88-5521 FAX:0256-88-5531
- 通所リハビリテーション
TEL:0256-88-0024(直通)
- 居宅介護支援事業所「ケアプランセンターチューリップ」
TEL:0256-88-0180(直通) FAX:0256-88-0181
- 訪問看護ステーション ● 訪問リハビリテーション
TEL:0256-88-0171(直通) FAX:0256-88-0172
- 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲
TEL:0256-88-0022(直通) FAX:0256-88-0033
- 西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション
TEL:025-211-2116(直通) FAX:025-211-2126

住宅型有料老人ホーム ころはす西蒲

- 短期入所生活介護事業所「ショートステイころはす西蒲」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターころはす西蒲」
- 居宅介護支援事業所「ころはす西蒲」
- 訪問介護事業所「ころはす西蒲」
TEL:0256-88-3113 FAX:0256-88-3115

ころはす榎尾

- ショートステイ「ころはす榎尾」
TEL:025-211-8325 FAX:025-211-8326

ころはす亀貝

- ショートステイ「ころはす亀貝」
TEL:025-260-0261 FAX:025-260-0268
- デイサービスセンター「ころはす亀貝」
TEL:025-260-0255 FAX:025-260-0256

住宅型有料老人ホーム ころはす小針

- 「ころはすクリニック」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターころはす小針」
- 居宅介護支援事業所「ころはす小針」
- 訪問介護事業所「ころはす小針」
TEL:025-234-3800 FAX:025-234-3810

ころはす五十嵐

- ショートステイ「ころはす五十嵐」
TEL:025-201-6363 FAX:025-201-6360

ころはす小新

- ショートステイ「ころはす小新」
TEL:025-234-4661 FAX:025-234-4662(共通)
- 居宅介護支援事業所「ころはす小新」
TEL:025-234-4666 FAX:025-234-4666

社会福祉法人 友愛会

グループホーム ゆうあい

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-268-6840 FAX:025-268-6841

グループホーム ひまわりの家

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-272-2701 FAX:025-272-2710

編集後記 [みさと編集委員会 デイサービスセンターみさと 木原]

明けましておめでとうございます。昨年は大勢の人が参加する花火大会やライブが開催され日常が戻りつつある事を実感できる年となりました。今年も沢山幸せを体感できる一年になりますように!さて広報誌みさととは今号で70号となりました。これまで記事掲載にご協力頂いた皆様にはみさと編集委員一同感謝申し上げます。これからもお役に立てる情報を提供できるよう一層精進して参ります。



発行責任者: 院長 鰐淵 勉
〒959-0423 新潟県新潟市西蒲区旗屋731番地
TEL/0256-88-5521(代)
FAX/0256-88-5531

http://www.misatokai.or.jp/

西蒲中央病院

検索



みさと

Misato

Vol. 70
2023年1月10日
発行

— 美郷会理念 —

人と地域にやさしいオアシスを目指します



今回の表紙/「どんな困難もぴよんと飛び越えて良い年に!」

デイサービスセンターみさとの利用者様と職員の作品

- 年頭のご挨拶
- 隔世の感あり
- 知ったく情報「冬の食中毒に要注意」
- 新型コロナウイルス ワクチン接種について





謹賀新年

令和5年 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



理事長
江部 和人

2023年は、十二支の中で、4番目の兎の年に当たります。兎は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、その飛躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして、親しまれてきました。他にも「植物の成長」の意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。

さて、ワールドカップサッカーでは日本勢の「歴史的活躍」に興奮しました。国民上げての熱狂的な応援もあり、コロナ禍での朗報は広く勇気と希望を与えてくれ、称賛されました。

世界的には、ロシア軍のウクライナ侵攻による、世界的な食糧不足、燃料の高騰、経済の低迷をはじめ、図り知れない深刻な影響を及ぼしております。この様な燃料費電力の大幅な高騰の対策の一つとして、当院は屋上に、再生可能エネルギーの太陽光発電システムを整備いたします。クリーン電力の活用により、CO2の削減や職場環境、療養環境改善などにも取り組んでいきたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症も発生から3年の月日が経過します。昨年は当院においても、院内感染が発生し、患者様、ご家族様には、多大なるご迷惑、ご心配をおかけした事を深くお詫び申し上げます。この冬はコロナ感染とインフルエンザの同時流行も懸念され、より一層の感染対策に努め、引き続きワクチン接種、発熱外来等、医療機関としての役割を果たしていきます。今後とも変異ウイルスとの戦いが続くものと考えられます。一日でも早く、制限のない生活環境に戻って欲しいものです。

本年の取り組みとしまして、ICTの促進の一環

として、昨年導入した電子カルテは順調に推移しております。今後は窓口業務での顔認証システムの導入が本年4月予定で開始されます。今後、効率的運用を行い、関係各部署、職員間の連携・情報共有を図り、患者さん、利用者さんへ引き続き、適切な「治療～退院・在宅支援」が出来るよう努めてまいります。

昨年11月には「こころはす小新」ユニット型ショートステイ29床に9床を増やし、38床として運用しております。こころはす「小針」「西蒲」「亀貝」「槇尾」「五十嵐」「小新」及び2箇所の訪問看護(リハビリ)ステーション、医療・介護・福祉事業が地域関係機関と連携、協働して利用者のニーズをしっかり捉え、事業の安定運用を継続的に行ってまいります。

新型コロナ感染症拡大は医療業界のあり方においても転換期となり、医療従事者の働き方改革、地域医療構想と当該医療事業のあり方が問われる時期が迫っております。

今後も、医療提供体制並びに環境は大きく変化するものと予測され、地域の方々、安心、安全な生活ができる支援体制の構築が必須です。本年も基本理念「地域のオアシスを目指します」に則り、地域の方々から求められる病院として、堅実に向上を目指します。

皆様にとりまして、争いを好まず、景気も跳ね上がる縁起の良い兎の年になりますことをご折念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



太陽光発電システムについて

持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、自家消費電力を導入いたします。クリーン電力の活用によるCO2削減、地域環境貢献による社会的責任、職場環境改善、人材育成等を考慮し(ESG:環境・社会・企業統治)本年1月よりの稼働を予定しております。



屋上に設置された太陽光発電システム

「隔世の感あり」

外科・内科 森本 悠太 医師



約18年振りに釣りを再開しました。最後に釣りに行ったのが学生時代だったので隔世の感があります。

そもそも私が研修医の頃は「土日祝日も病院に来て当たり前」「夜も電話呼び出し当たり前」「大した用事も無いのに休んだらしく」というような雰囲気でしたので、釣りになど行けるはずもなく(当時は「釣りになんか行っちゃだめだ」「そんな時間があるわけがないだろ!」といわれました)研修自体はとても充実していましたが...

現在の8:30~17:30の勤務時間が終わったら呼び出し無し、土日祝日完全休みという勤務形態においては、研修医2年間で入院サマリーが100も無いなどという研修状況が異世界の出来事のように思われます。研修が終わってから似たような状況でずっと仕事をこなしてきましたが、当院で働き始めてからは自分の時間、家族の時間も十分に持てるようになりとてもありがたく思っています。

暇なときに一緒に釣りに行ってくれる方がおりましたらいつでもお声がけください。

Shittoku Joho 知っク・情報

今回の
テーマ

冬の食中毒に要注意!

12月~3月はノロウイルスによる食中毒が発生しやすい時期です。ノロウイルスは、生あるいは加熱不十分の二枚貝(牡蠣など)を食べることや、既に感染している人の嘔吐物や排泄物からの感染が多くみられます。



【食中毒の一般的な症状】 吐き気、嘔吐、腹痛、下痢

ノロウイルス 予防4原則

① 持ち込まない
調理する人の健康
状態に注意

② につけない
手洗いの徹底、調理
器具の洗浄・消毒

③ やっつける
中心部まで
十分加熱

④ 広げない
消毒・清掃、汚物
の適切な処理

【食中毒の症状がでたらどうすればいい?】

- 1、下痢や嘔吐をしたらしっかり水分を摂りましょう(体に吸収されやすい経口補水液が良いです)
- 2、自分で判断して薬を飲むのはやめて、医療機関に相談・受診しましょう
- 3、食べたもの、食品の包装、店のレシートを捨てずにとっておきましょう。
- 4、嘔吐や下痢の回数や量、色などを観察して受診の際に医療機関に伝えましょう。

【消毒と片付け】

ノロウイルスには塩素系ハイター(次亜塩素酸ナトリウム)による消毒が有効でアルコール消毒は効果が少ないとされています。感染している人の嘔吐物や排泄物の処理をする際は使い捨ての手袋やマスクを着用し、周りに広げないようにすることが重要です。



【調理のポイント】 ウイルスを「やっつける」

食品に付着しているノロウイルスは、しっかりと加熱することで死滅します。食品の中心部が85~90℃、90秒以上の加熱で、中まで火を通すことが大切です。調理器具は、洗剤などで十分に洗浄した後に、熱湯で1分以上加熱するか、塩素消毒液(塩素濃度200ppm)に浸して、消毒すると効果的です。

管理栄養士 大和